



# 士別ロータリークラブ

創立 1960・3・24 RI第2500地区

Vol. 15 No. 2691

2019-2020年度国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 国際ロータリー  
会長 マーク・ダニエル・マローニー

RI HP <https://www.rotary.org/ja>

2500地区ホームページアドレス <http://rid2500.jp/>

2019-2020年度士別ロータリースローガン

## 地域に根ざそう奉仕の力で



士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)  
2005年会報から 画: 百瀬達夫元会員

- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:10
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長 / 近井孝義 ■ 副会長 / 谷 温恵
- 幹事 / 但木行久

士別ロータリークラブ HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

## 今日のプログラム

第2775回例会 2019年11月18日(月) 普通例会

### 前回(10月21日)の記録 ・ 普通例会 ・ 新入会員卓話

- ・ 司 会 伊藤優市 会場監督
- ・ 斉 唱 国歌斉唱 奉仕の理想
- ・ 本日の出席 会員:47人 出席:35人 出席率:74.46% 修正:80.85%
- ・ 本日の欠席 江端建之、加藤 博、近藤峯世、鈴木 勉、但木行久、田中道也、近井孝義、山下卓巳、大野裕一郎、藤吉敏博、深尾幸夫、菊地昭通
- ・ メークアップ
- ・ ビジター
- ・ ゲスト
- ・ ニコニコBOX 奈良康弘、本山忠之、大江智宣 (以上誕生日祝い)、織戸俊二 (パークゴルフ同好会優勝)  
累計 158,000円

## 例会予定

### ■ 11月例会【ロータリー財団月間】

- 11月4日(月) 休会 (法定休日:文化の日)
- 11月11日(月) 例会・
- 11月18日(月) 例会
- 11月25日(月) 夜間例会

### ■ 12月例会【家族月間】

- 12月2日(月) 例会・年次総会・理事会
- 12月9日(月) 夜間例会・ファミリーパーティー
- 12月16日(月) 例会
- 12月23日(月) 例会
- 12月30日(月) 特別休会

## ■会務報告

## 近井孝義会長

※近井会長海外出張のため、谷副会長代読

■今月は、ロータリー財団月間です。ロータリー財団について、お分かりの方も沢山いるとは思いますが、確認のためお話をさせていただきます。

■ロータリー財団とは

国際ロータリーのロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられました。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的、教育的目的のためのみ運営するものとします。

■財団の定義

ロータリー財団は、ロータリークラブおよび地区を通じて実施され承認された人道的および教育的活動を支援するための寄付を受け、資金を分配する非営利団体である。

■ロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

■ここでロータリーの使命と財団の使命について少しふれておきます。

国際ロータリーの使命は、他者に奉仕すること、高潔性を促進すること、世界理解、親善、平和を推進することの3項目からなる。それに対し、ロータリー財団の使命は3番目の世界理解、親善、平和を達成できるようにすることでありロータリー財団の役割は、国際ロータリーの承認を得て、目標を実現していくことである。

クラブレベルに置き換えると、国際ロータリーがクラブ理事会、ロータリー財団がクラブ役員と考えると分かりやすいと説明されていました。

■ロータリー財団の標語

『世界でよいことをしよう』

(Doing good in the world)

●引き続き次年度理事、役員の方につきましてご報告いたします。

士別ロータリークラブ細則第3条1節に基づき、先月の理事会におきまして、指名委員会を設置し、パスト会長より神田会長、尾崎副会長、宮崎パトス会の三役及び今年度クラブ会員である近井会長と但木幹事の5名が選出、承認されました。今後、年次総会に向けて会員のみな様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

■幹事報告

但木行久幹事

※但木幹事用務のため、福島和秀副幹事代読

1) 本日、11月号ガバナ一月信、ロータリーの友を配布致しましたのでお持ち帰り下さい。

2) 2019-2020年度、士別ロータリークラブのパスト会長会総会を11月21日に開催いたします。本日、出席義務者宛にご案内の文章を配布しておりますので、期日までに欠欠の回答を但木幹事までお願い致します。

3) 士別中小企業勤労者福祉協会より11月22日開催されます「第43回勤労感謝祭の集い」への出席依頼が、会長宛で届いています。

■委員会報告

●大橋直幸社会奉仕委員長＝第38回歳末チャリティーふれあい演芸会(12月1日午前10時、市民文化センター)のチケットご案内です。1枚500円。ご希望の方は配布します。

●奈良康弘会員増強委員長＝新入会員推薦の報告です。候補者は神田社会保険労務士事務所長の神田裕教(ひろの

り)さんです。70歳です。10月28日のクラブ理事会で承認され、本日の発表後7日以内に異議の申し立てがなければ、会員に選ばれたとみなされ、入会決定となります。2020年1月6日より入会の運びとなりますが、12月9日のファミリーパーティーに招待することも考えています。

■新入会員卓話

●井口裕史会員＝先日、日本バス協会の事業で「貸切バス事業者安全性評価認定制度」(通称「セーフティーバス」「ハートマーク(★)」)と言われる。日本バス協会において、貸切バス事業者からの申請に基づき安全性や安全の確保に向けた取組状況について評価認定を行い、これを公表するもので、平成23年度から運用を開始した)の訪問審査があり、審査員3名が来ました。日本バス協会(東京)から1名、独立行政法人自動車事故対策機構(札幌の支所)から2名。事前に各運行帳票などを自分が全てチェックして、大変でありましたが、結果「問題のあるところ、ありません」のご回答をいただきました。さらに、事前に「書類審査」というのがあるんですけど、この内容に対して「すごいですね、この取組内容は素晴らしい」との言葉をいただきました。

この「書類審査」というのは、今年の4月に出していたんですけど、一番でかいファイル1冊分の書類を提出します。日々の運転手に対する指導状況や各種規程の制定、法令講習の受講状況、アルコールチェックのシステム、デジタルタコグラフやドライブレコーダーを活用した指導教育、労働法の遵守状況、各種法令の遵守状況、車両整備の状況、重大事故等発生時の体制、運輸安全マネジメントの対応状況、PDCA体制の確立、非常時訓練の実施、内部監査体制など貸切バスの安全運行に関する全般に渡るものです。

「★」があると、北海道の場合「全道が営業区域」になります。★がないと、営業箇所が旭川運輸局の管轄範囲内です。要は★があると、全道どこからの発着も受けれることとなります。

また、なによりもバス会社のステイタスのようなもので、名刺交換の際に星が3個あると「おおー」という感じです。

士別軌道は、路線と貸切ですが、路線と言えはほぼ士別市内の零細路線、これが15本あります。人口減少により、かなり厳しい利用状況です。士別市、北海道、国から補助金をいただいても1~2千万円は毎年、路線で赤字が出ます。士別市からの委託事業を受け、さらに貸切事業の利益で穴埋めしている感じです。その貸切業も、昨年のフラックアウトから不調です。

これを乗り切りためには、★を早く★★★にして、地元の利用者に「安全性」を知っていただくこと、また旅行業者や幹旋業者に売り込むこと、これを一つの策として考え、目標にしております。

